第28回 うつのみやこども賞だより

平成２３年度　第６回

市内５・６年生の選定委員さんたちが，月に４冊の本を読んで，年間で一番人気の高かった本に「うつのみやこども賞」を贈っています。

《今月選ばれた本》

『夏のジオラマ』

小路幸也／作　（集英社）

～読んだ本の感想より～

●ふみよさんの箱庭の中にタイムスリップしてしまうところが面白かったです。人の思いはありえないことを起こすことがあるんだと思いました。
●夏休みの自由研究から始まる一つ一つの出来事について，４人が解決していった所が面白かったです。
●マンタとリョウとフミとミクの友情がすごいと思いました。ふみよさんの箱庭が今もあるなんていいなと思いました。
●マンタがいなくなったのがきっかけにリョウたちがジオラマの中に入ったりしていくのが面白い。
●「この町をはなれても，夏に集まろう，ふみよさんに会いに」という文に信頼関係を感じました。

『カメレオンを飼いたい』　松本祐子／作　（小峰書店）

●私もカメレオンが好きなので，飼いたいと思いました。レイコに認められてよかったと思います。
●カメレオンに憧れていた本当の理由に感動しました。
●文化祭の劇によって，大きく変わる主人公がよかった。
●逸樹が，三井，原田，斉藤たちと仲良くなり，シンデレラの劇を上手にできたのがよかった。
●逸樹が斉藤たちの出会ったことで，どんどん他の人達と打ちとけていくところがよかった。

『遠く不思議な夏』　斉藤洋／作　（偕成社）

●夏に実家に行くと，座敷わらしがいたり，ひとだまがいたりと，不思議な事がおきるのが面白かった。
●どうして最後を書かなかったのかなと思いました。
●主人公が体験した不思議なことがまるで私の身に起きたことのようで面白かった。
●読み終わった後，なんだかとっても不思議な気持ちになりました。「きっつぁん」は何者なんだろうと思いました。
●現実に近い形で書いてあるので，本当にあったことのように，少しこわかったりワクワクしたりすることができました。

『ぼくたちのサマー』　本田有明／作（ＰＨＰ研究所）

●ぼくと勇太がそれぞれの犬を通して仲が元通りになるところがよかったです。あと，ハラハラした部分がもう少しあったらいいなと思いました。
●新しいものに出会ってからでないと，今までの大切なものが見えなくなってしまうこともある，ということを，この本に教えてもらいました。
●結末をちゃんとしてほしかった。
●健吾が昔飼っていた犬のサマーを探さなかった気持ちがわかりません。とてもひどいと思いました。
●健吾と勇太が仲直りできたのかが気になります

うつのみやし としょかん Utsunomiya city library

２０１１年１１月１２日